



2026年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年4月10日

上場会社名 株式会社ほぼ日 上場取引所 東
 コード番号 3560 URL <https://www.hobonichi.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長COO（氏名） 小泉絢子
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CF0兼管理部長（氏名） 鈴木基男（TEL）03-5422-3804
 半期報告書提出予定日 2026年4月10日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年8月期第2四半期（中間期）の業績（2025年9月1日～2026年2月28日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期中間期	7,065	23.0	1,733	69.6	1,748	65.2	1,210	65.4
2025年8月期中間期	5,744	14.2	1,021	△5.4	1,058	△1.9	731	△2.0
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年8月期中間期	521.46		—					
2025年8月期中間期	315.26		315.22					

（注）2026年8月中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期中間期	7,550	5,974	79.1
2025年8月期	6,918	4,893	70.7

（参考）自己資本 2026年8月期中間期 5,974百万円 2025年8月期 4,893百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	90.00	90.00
2026年8月期	—	0.00			
2026年8月期（予想）			—	90.00	90.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	9.5	680	10.2	680	4.4	480	7.1	206.79

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期中間期	2,321,800株	2025年8月期	2,321,800株
② 期末自己株式数	2026年8月期中間期	508株	2025年8月期	430株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年8月期中間期	2,321,305株	2025年8月期中間期	2,321,103株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確実要素を含んでいます。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

2026年4月10日（金）17時以降、当社ウェブサイト<https://www.hobonichi.co.jp/>に掲載予定です。
また、2026年4月14日（火）に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間貸借対照表	6
(2) 中間損益計算書	7
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における当社の経営成績は、次の表のとおりです。

	前中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)	対前年同期比 (増減額)	対前年同期比 (増減率)
売上高	5,744,096千円	7,065,259千円	1,321,162千円	23.0%
営業利益	1,021,990千円	1,733,762千円	711,772千円	69.6%
経常利益	1,058,570千円	1,748,942千円	690,372千円	65.2%
中間純利益	731,749千円	1,210,464千円	478,715千円	65.4%

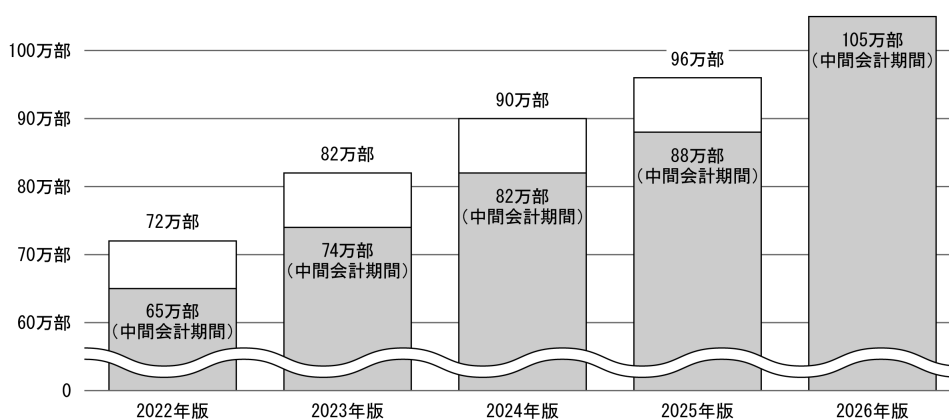
当社は当中間会計期間において、主力商品の「ほぼ日手帳 2026」を例年通り2025年9月1日より、4月はじまり版の「ほぼ日手帳 2026 spring」を2026年2月1日より販売開始しました。

「ほぼ日手帳」においては幅広いユーザーの手にとってもらえるような新たなブランド、IPやアーティストとのコラボレーションをこれまでも実施してきましたが、2026年版では、2025年版に引き続き「ONE PIECE magazine」やイラストレーターの北岸由美さん、新たに「たまごっち」や「ムーミン」、2026年には初となる「名探偵コナン」の手帳、周辺文具の販売を実施する等、多種多様なコラボレーションが実現しています。また、「ほぼ日手帳」に関連して、2025年10月15日よりデジタル版の「LIFEのBOOK」として「ほぼ日手帳アプリ」サービスを開始しています。当該アプリはリリース直後より多くのユーザーに利用され、好調な滑り出しを見せています。このように、販売アイテムのラインナップ拡充だけでなく、様々なニーズへの対応を進めることで、新規ユーザーの獲得に注力しました。

販路については、自社ECサイト「ほぼ日オンラインストア」のみならず、Amazon(国内・海外)や楽天市場など外部ECサイトでの取扱を拡充するほか、国内外の取組先への卸販売を通して、より多くのユーザーが普段利用する場所で「ほぼ日手帳」を購入できる環境を構築しています。

結果として、「ほぼ日手帳」の国内売上高は2,271,504千円(前年同期比24.2%増)、海外売上高は3,273,306千円(前年同期比38.4%増)と国内外ともに伸長し、国内外合計で5,544,810千円(前年同期比32.2%増)となりました。海外売上高の構成比率は59.0%(前年同期比2.6pt増)と増加しました。当中間会計期間における2026年版の販売部数は100万部を突破し、過去最高を記録した2025年版を上回る極めて堅調な推移となっています。

『ほぼ日手帳』販売部数推移



「ほぼ日手帳」以外の商品については、売上高は841,593千円(前年同期比27.3%減)となりました。これは、前年同期に開催したコンテンツのフェスティバル「生活のたのしみ展」の当会計年度における開催が6月(第3四半期)予定のため、前年同期との開催時期の差異が生じたこと、およびファッション関連商品の売上減少によるものです。一方で、期間限定ショップ「MOTHERのおみせ」や「ほぼ日曜日」で開催した「でたらめ!タローマン大万博」等の売上は好調に推移しています。

これらの結果、総売上高は7,065,259千円(前年同期比23.0%増)となりました。

売上原価については、「ほぼ日手帳」の原価率は28.5%(前年同期比2.9pt減)、「ほぼ日手帳」以外の原価率は45.6%(前年同期比6.5pt減)といずれも改善しており、全体の売上原価率は32.2%(前年同期比4.8pt減)となりました。

販売費及び一般管理費については、海外直営販路での売上増加に連動した販売手数料等の増加している一方、「生活のたのしみ展」開催時期の差異により、関連費用が減少いたしました。これにより、売上高に占める販売費及び一般管理費の比率は43.2%(前年同期比2.0pt減)となりました。

その結果、当中間会計期間の営業利益は1,733,762千円(前年同期比69.6%増)、経常利益は1,748,942千円(前年同期比65.2%増)、中間純利益は1,210,464千円(前年同期比65.4%増)となりました。

その他の事業活動については、さまざまな地域との取り組みの一環として、群馬県赤城山の鳥居峠に新たな拠点「ほぼの駅 AKAGI」を開設、2025年11月から試験的に営業を開始し、2026年4月24日にグランドオープンを予定しています。また、お笑いコンビ「令和ロマン」のくるまさんと糸井重里の対談「令和が令和ロマンを待っていた。」や、脳科学者の中野信子さんと糸井重里の対談「坊さんで、アンパンマン。」などのコンテンツを、「ほぼ日」では読み物コンテンツとして、「ほぼ日の学校」では動画コンテンツとして展開しました。このように、当社は運営する「場」において、生活のたのしみとなるような「いい時間」を過ごしていただけるよう、コンテンツを作り、編集し届けています。業績はこうしたすべての活動の結果だと考えています。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しています。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

	前事業年度 (2025年8月31日)	当中間会計期間 (2026年2月28日)	前事業年度末比増減
資産合計	6,918,112千円	7,550,031千円	631,918千円
負債合計	2,024,547千円	1,575,739千円	△448,808千円
純資産合計	4,893,564千円	5,974,291千円	1,080,727千円

(資産の部)

流動資産は、5,273,950千円と前事業年度末に比べて384,257千円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加2,338,039千円、その他に含まれる前渡金の増加56,196千円、売掛金の減少710,386千円、商品の減少1,280,835千円によるものです。

有形固定資産は、355,367千円と前事業年度末に比べて100,698千円の増加となりました。これは主に「ほぼの駅AKAGI」開設に伴う建物の増加128,783千円、工具、器具及び備品の増加11,073千円、減価償却による減少26,926千円によるものです。

無形固定資産は、898,650千円と前事業年度末に比べて27,217千円の増加となりました。これは主に「ほぼ日手帳アプリ」リリース等によるソフトウェアの増加387,400千円、ソフトウェア仮勘定の減少238,343千円、ソフトウェアの減価償却による減少121,013千円によるものです。

投資その他の資産は、1,022,063千円と前事業年度末に比べて119,744千円の増加となりました。これは主に投資有価証券の時価評価額の増加116,385千円、その他に含まれる長期前払費用の増加4,870千円によるものです。

(負債の部)

流動負債は、1,340,549千円と前事業年度末に比べて459,215千円の減少となりました。これは主に買掛金の減少1,074,637千円、賞与引当金の減少54,271千円、未払法人税等の増加460,675千円、その他に含まれる未払消費税の増加217,967千円によるものです。

固定負債は、235,189千円と前事業年度末に比べて10,407千円の増加となりました。これは主に退職給付引当金の増加16,668千円、その他に含まれる長期未払費用の減少5,200千円によるものです。

(純資産の部)

純資産の部は、5,974,291千円と前事業年度末に比べて1,080,727千円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加1,001,541千円、その他有価証券評価差額金の増加79,447千円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物は3,093,216千円と前事業年度末と比べ2,338,039千円の増加となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

	前中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)	対前年同期比 (増減額)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,816,483千円	2,905,117千円	1,088,634千円
投資活動による キャッシュ・フロー	△228,294千円	△356,921千円	△128,626千円
財務活動による キャッシュ・フロー	△103,838千円	△210,006千円	△106,168千円

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,905,117千円の純収入となりました。これは主に税引前中間純利益1,748,942千円、売上債権の減少額710,386千円、棚卸資産の減少額1,277,100千円、減価償却費190,210千円、未払又は未収消費税等の増加額234,136千円による増加要因と、仕入債務の減少額1,074,637千円、賞与引当金の減少額54,271千円、法人税等の支払額130,343千円による減少要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、356,921千円の純支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出133,257千円、無形固定資産の取得による支出179,112千円、長期前払費用の支出44,550千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、210,006千円の純支出となりました。これは主に配当金の支払額208,283千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

	2026年8月期 予想	2025年8月期 実績	対前期増減率
売上高	9,500百万円	8,677百万円	9.5%
営業利益	680百万円	616百万円	10.2%
経常利益	680百万円	651百万円	4.4%
当期純利益	480百万円	448百万円	7.1%

2026年8月期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、2025年10月10日に発表いたしました通期の業績予想数値に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年8月31日)	当中間会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	755,176	3,093,216
売掛金	1,407,461	697,075
商品	2,547,267	1,266,431
仕掛品	49,166	52,901
貯蔵品	20,741	-
その他	111,017	165,140
貸倒引当金	△1,139	△815
流動資産合計	4,889,692	5,273,950
固定資産		
有形固定資産		
建物	351,706	480,490
工具、器具及び備品	200,908	211,982
その他	25,361	13,130
減価償却累計額	△323,308	△350,235
有形固定資産合計	254,668	355,367
無形固定資産		
ソフトウェア	551,516	817,611
ソフトウェア仮勘定	310,276	71,933
その他	9,639	9,105
無形固定資産合計	871,432	898,650
投資その他の資産		
投資有価証券	401,605	517,990
その他	500,712	504,072
投資その他の資産合計	902,318	1,022,063
固定資産合計	2,028,419	2,276,081
資産合計	6,918,112	7,550,031
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,187,262	112,624
未払金	269,605	261,837
未払法人税等	145,064	605,740
賞与引当金	129,139	74,867
その他	68,693	285,480
流動負債合計	1,799,765	1,340,549
固定負債		
退職給付引当金	181,500	198,168
資産除去債務	3,975	3,975
その他	39,306	33,045
固定負債合計	224,782	235,189
負債合計	2,024,547	1,575,739
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,122	351,122
資本剰余金	341,122	341,122
利益剰余金	4,041,697	5,043,238
自己株式	△1,975	△2,236
株主資本合計	4,731,966	5,733,246
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	161,598	241,045
評価・換算差額等合計	161,598	241,045
純資産合計	4,893,564	5,974,291
負債純資産合計	6,918,112	7,550,031

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
売上高	5,744,096	7,065,259
売上原価	2,125,060	2,276,716
売上総利益	3,619,035	4,788,543
販売費及び一般管理費	2,597,044	3,054,780
営業利益	1,021,990	1,733,762
営業外収益		
受取補償金	35,776	1,145
受取利息	981	2,145
為替差益	-	11,159
その他	904	1,152
営業外収益合計	37,662	15,603
営業外費用		
固定資産除売却損	-	314
為替差損	1,078	-
その他	4	108
営業外費用合計	1,083	423
経常利益	1,058,570	1,748,942
税引前中間純利益	1,058,570	1,748,942
法人税、住民税及び事業税	334,869	573,424
法人税等調整額	△8,048	△34,946
法人税等合計	326,821	538,478
中間純利益	731,749	1,210,464

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	1,058,570	1,748,942
減価償却費	142,410	190,210
貸倒引当金の増減額(△は減少)	937	△323
賞与引当金の増減額(△は減少)	△54,247	△54,271
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,078	16,668
受取利息及び受取配当金	△981	△2,145
受取補償金	△35,776	△1,145
為替差損益(△は益)	3,590	△883
売上債権の増減額(△は増加)	675,471	710,386
棚卸資産の増減額(△は増加)	805,324	1,277,100
貯蔵品の増減額(△は増加)	9,877	20,741
その他の資産の増減額(△は増加)	9,863	△48,865
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,086,577	△1,074,637
未払又は未収消費税等の増減額	129,794	234,136
その他の負債の増減額(△は減少)	154,683	16,311
その他	△360	△55
小計	1,822,660	3,032,169
利息及び配当金の受取額	981	2,145
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△42,935	△130,343
補償金の受取額	35,776	1,145
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,816,483	2,905,117
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,856	△133,257
無形固定資産の取得による支出	△162,522	△179,112
長期前払費用の取得による支出	△48,273	△44,550
差入保証金の差入による支出	△11,641	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△228,294	△356,921
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,380	-
自己株式の取得による支出	-	△260
配当金の支払額	△104,135	△208,283
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,083	△1,462
財務活動によるキャッシュ・フロー	△103,838	△210,006
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,595	△150
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,480,755	2,338,039
現金及び現金同等物の期首残高	1,194,594	755,176
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,675,349	3,093,216

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社はウェブメディアと物販を複合的に行う単一のセグメントであるため、セグメント情報については記載を省略しています。